

切込の裸カセドリ

団体名称 切込誘和会

指 定 宮城県指定無形民俗文化財 平成 14 年 5 月 24 日

概 要

宮崎地区の切込集落に伝わる小正月の行事で、古くは旧暦 1 月 15 日の夜に行われていましたが、現在はその近くの土曜日に行われています。

15 才以上の男子が顔や体にヘソビ（窯の墨）を塗り、裸で家々を訪問し、家人にヘソビをつけ、新年のあいさつをしてから酒食のもてなしを受けます。また、初めての参加者、それに新婚者と厄年の物は裸の腰に注連縄を回し、頭に藁束をかぶった装束を身につけ、家々の訪問に先立って他の参加者から水を浴びせられます。

この行事は、年が改まる正月に肉体的な試練を受ける通過儀礼であるとともに、神となった異装の若者が家を訪問して饗応を受けることを内容としており、小正月の来訪行事の旧態をよく伝えていきます。

